

●行政情報●

かんしょ、ばれいしょ関係対策について (令和6年度補正予算)

～畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業～

農林水産省農産局地域作物課
課長補佐（いも類班）

すずき りさ
鈴木 里沙

1 はじめに

かんしょ及びばれいしょは、青果用、加工用、でん粉原料用、醸造原料用と多様な用途があり、様々な飲食料品に形を変えて私たちの食生活を豊かなものにしてきている。それぞれの用途に求められる品質・規格等が異なることから、産地では用途に適した品種や栽培方法で生産され、実需者に提供されている。

一方、栄養繁殖性作物で重量作物でもあるかんしょ及びばれいしょは、労働負荷が高く、高齢化等により生産者数が減少しており、病害虫の影響による収量の低下と相まって、作付面積及び生産量が減少傾向にある。このため、かんしょ及びばれいしょとも、近年、堅調な需要に対して供給量が不足しており、需要に応じた安定生産・供給体制を構築していくことが喫緊の課題となっている。

そこで、農林水産省では、令和6年度補正予算の「畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業」において、かんしょ及びばれいしょの安定生産・供給体制の構築に向けた産地の取組を支援する事業を新設又は拡充により措置したところである。

かんしょ及びばれいしょについて、それぞれの現状及び課題に触れた上で、その課題解決に向けた対策として、本事業について紹介していきたい。

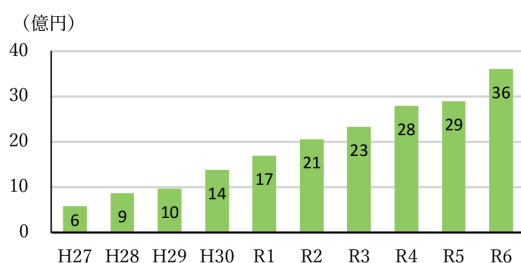
2 かんしょ関係対策

(1) 現状と課題

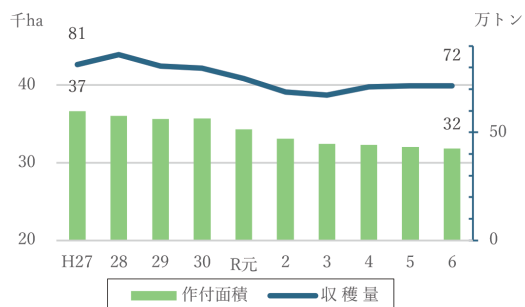
かんしょは、甘くてねっとり系の品種「べにはるか」等の人気により、焼き芋や菓子への利用が拡大し、国内だけでなく海外での需要も堅調となっている。

一方、高齢化による生産者数の減少やサツ

かんしょ輸出金額の推移



全国の作付面積及び収量（かんしょ）



マイモ基腐病等の影響による収量の低下等により、作付面積及び生産量は減少傾向にある。

栄養繁殖性のかんしょは、苗の生産・管理が重要であり、個々の農家が増殖した苗（つる）を植付に適した長さに切り揃える採苗や、つるを土中に差し込む特殊な植付方法、収穫時の傷による貯蔵中の腐敗等、取扱いが難しいことから、未だ手作業が多く労働負荷が高いことが課題となっている。

生産者の高齢化の進行等により農業の担い手が減少していく中、需要に応じた安定生産を図っていくためには、機械化等による省力化、作業集約化や外部化の推進が喫緊の課題となっている。

また、かんしょは、生食用、菓子等の加工用、でん粉原料用、醸造原料用といった様々な用途のほか、輸出向けにも出荷している。これら多様な用途ごとに品種、品質やサイズ等のニーズが異なることから、実需者等と連携した産地形成も併せて推進していく必要がある。

（２）対策

需要に応じたかんしょの安定生産・供給体制を構築するためには、

⇒ 省力生産体系の確立

⇒ 産地と実需者等との連携体制の構築

の２つのアプローチによる支援が必要と考え、令和６年度補正予算の「畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業」において、下記の事業を新たに措置した。

ア かんしょ生産構造転換産地づくり支援事業

需要に応じた安定生産体制の構築に向けて、次の①、②を支援（補助率：定額、農業機械等の導入は1/2以内）

① かんしょ省力生産体系モデル産地の育成

かんしょ生産の省力化に資する新品種・新技術の導入実証、作業の外部化・集約化に向けた体制構築の実証、省力化体系の導入に必要な農業機械等の導入を支援

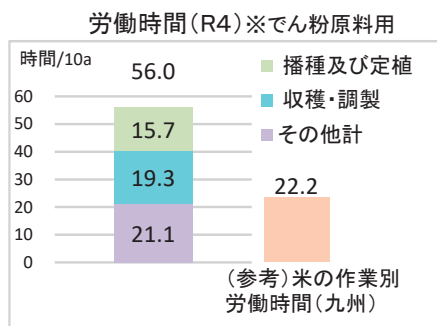
② 産地と実需者等が連携したかんしょ産地形成

産地と実需者が連携し、用途に適した新品種や栽培技術の導入実証、試作品の開発、輸出拡大に資する貯蔵・輸送技術の導入実証、これら取組に必要な農業機械等の導入を支援

イ かんしょ生産拡大対策整備事業（省力化栽培体系導入事業）

かんしょ生産の省力化、効率化に向けて、苗増殖に係る労働負荷や労働時間の低減の

かんしょの労働時間は長く労働負荷が高い



採苗作業
屈んで手作業で苗を切り取るため人手も必要で重労働



植付作業
腰を曲げての植付け作業は重労働。広い面積をこなすためには多くの人手が必要

ための地域の苗増殖拠点等の整備を支援
(補助率：1/2以内)

事業実施主体：都道府県、市町村、農業者
の組織する団体、民間事業者等

支援対象：種苗生産・保管施設

3 ばれいしょ関係対策

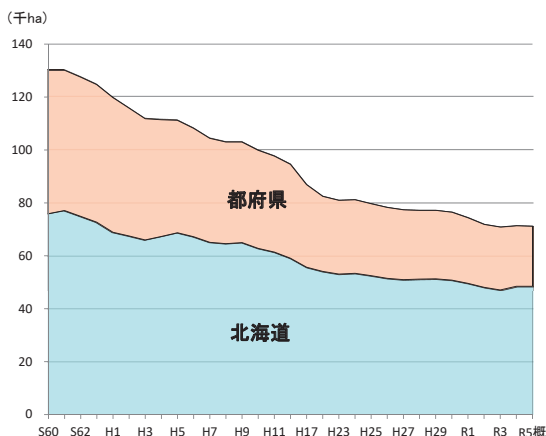
(1) 現状と課題

ばれいしょは、かんしょと同様に、青果用、加工用（ポテトチップ、サラダ、コロッケ、フライドポテト等）、でん粉原料用と

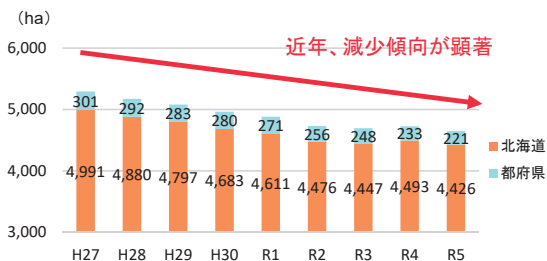
多様な用途がある。特に、加工用は国産需要が増加していること、でん粉原料用は国内生産量が減少していることから、需要を国産原料で賄いきれず、不足分は輸入に頼らざるを得ない状況にある。

また、高齢化による生産者数の減少、重量作物であるが故の他作物より高い労働負担、さらにジャガイモシストセンチュウの発生等により、作付面積が減少傾向にある。需要に応じた安定生産・供給体制の構築に向けて、労働力不足に対応した革新的な省力作業体系の導入や病害虫抵抗性品種の導入を早急に進めるほか、産地と実需者の連携した取組を推進していく必要がある。

作付面積の推移（ばれいしょ）

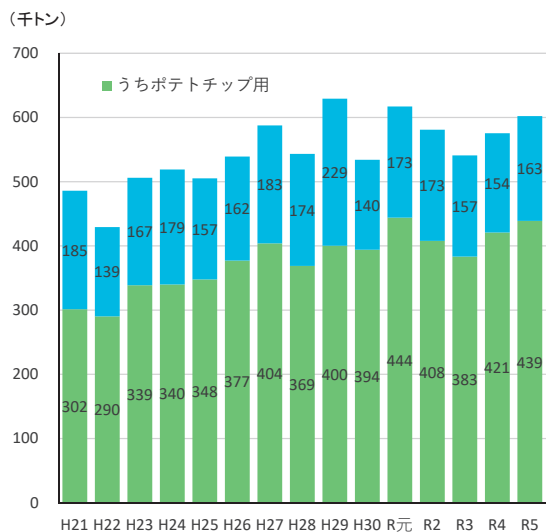


原種・採種は面積の推移（全国）

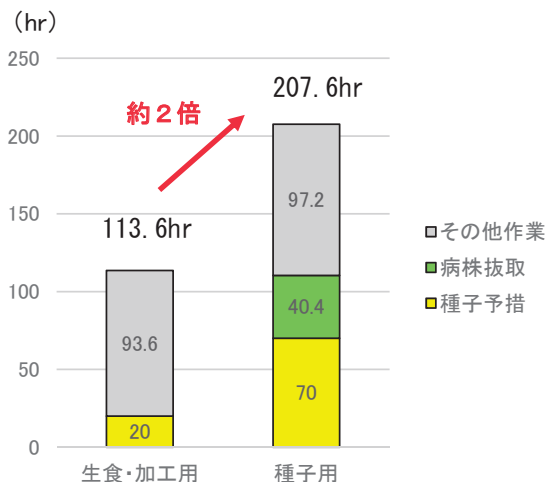


※植物検疫統計より

加工用ばれいしょの国内生産の推移

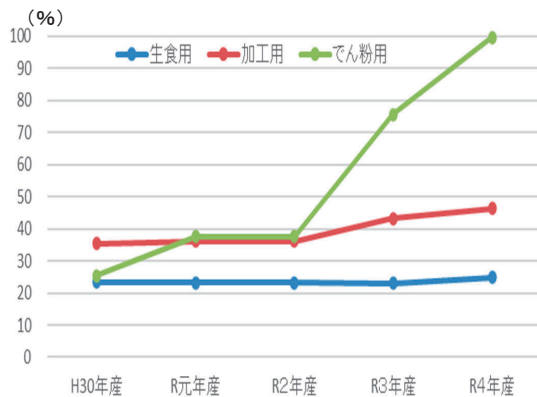


種ばれいしょの投下労働時間（ha当たり）



※北海道農業生産技術体系（第5版）

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種用途別普及率



資料：地域作物課調べ

また、ばれいしょの増産に不可欠な種ばれいしょは、健全な種いもを供給するために病株抜取等の作業負担が大きく、一般のばれいしょ生産の約2倍の労働時間を要しており、種ばれいしょの生産者数、作付面積は年々減少している。さらに、種ばれいしょ生産量の9割以上は北海道が担っているが、北海道における近年の気候変動による高温化に加え、ジャガイモシストセンチュウの発生面積拡大等も踏まえると、種ばれいしょの安定供給体制の維持は喫緊の課題となっている。

(2) 対策

これらの課題の解決に向けて、需要に応じたばれいしょの安定生産・供給体制を構築するため、

- ⇒ 加速化する農家減少に伴う規模拡大に対応した省力化体系の確立
 - ⇒ 産地と実需者の連携体制の構築
 - ⇒ 種ばれいしょの安定生産体制の確立
- の3つのアプローチによる支援が必要と考え、令和6年度補正予算の「畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業」において、

これまでの支援措置を拡充して下記の事業を措置した。

ア ばれいしょ生産構造転換産地づくり支援事業

需要に応じた安定生産体制の構築に向けて、次の①、②を支援（補助率：定額、農業機械等の導入は1/2以内）

① 実需と連携した産地モデル

産地と実需者の連携による種ばれいしょ確保から実需者への供給までの一気通貫生産体制の構築に取り組むモデル産地の育成を支援（検討会の開催、実証ほの設置、農業機械等の導入等）

② 革新的省力作業体系モデル産地(拡充)

経営規模拡大や労働力不足等の課題に対応した革新的な省力作業体系の確立に向けて、大型ハーベスタや倉庫前集中選別、作業の外部化等の導入実証に取り組む産地を支援（検討会の開催、実証ほの設置、農業機械等の導入等）

イ 種ばれいしょの新産地形成支援事業

① 新たな種ばれいしょ産地の形成

新産地の形成に向けて、種ばれいしょの生産技術の習得、生産開始のための取組、農業機械等の導入を支援（補助率：定額、農業機械等の導入は1/2以内）

② 既存種ばれいしょ産地における持続的 生産体制の確立（拡充）

各種作業の共同化、法人化、機械利用組合等の組織化に取り組む既存産地に対し、産地の合意形成、技術実証、研修等の取組、農業機械等の導入を支援（補助率：定額、農業機械等の導入は1/2以内）

ウ 種ばれいしょ生産の省力技術確立事業

種ばれいしょ生産の省力化につながる新たな技術の実証等の取組を支援（補助率：定額）

エ 種ばれいしょの安定供給対策事業

種ばれいしょの早期増産、り病率低減の取組の支援のほか、高温による品質低下防止に資する機械・設備（風乾設備等）の導入（令和6年度補正予算で拡充）を支援（補助率：定額、機械・設備の導入は1/2以内）

オ ばれいしょの病害虫抵抗性品種普及拡大事業

ジャガイモシストセンチュウ又はジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の導入に係る経費を支援（補助率：定額）

カ ばれいしょ生産拡大体制整備事業

- ① 上記ア又はイに取り組む事業実施主体に対し、取組に必要な保管施設等（選別、保管、包装及び出荷のいずれかの機能を有する施設）の整備を支援（補助率：1/2以内）
- ② 種ばれいしょ・ばれいしょの高温による品質低下防止に資する施設（補助率：1/2以内）

4 さいごに

以上、かんしょ及びばれいしょの現状と課題、令和6年度補正予算の関連対策の概要について紹介させていただいた。

生産者、実需者等のかんしょ及びばれいしょ産業に関わる皆様におかれては、かんしょ及びばれいしょの安定生産や供給体制の構築に向けて取り組む際に、これら事業を活用していただければ幸いである。

○事業の要件等の詳細情報

本事業の申請、要件等を定めた交付等要綱、事業実施要領等については、農林水産省のホームページに掲載しているので御確認願いたい。

ホーム＞農産局＞甘味資源作物、いも類、そば、なたね＞畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業（令和6年度補正予算）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/r6hosei_hatasakukyouka.html

○事業のお問い合わせについて

本事業は、都道府県・市町村を通じて申請する流れとなっているため、最寄りの地方農政局園芸特産課又は都道府県・市町村に御相談願いたい。